



チーム りきごう

学校通信

8号 力合小学校

校長 岡崎 雄治

幼稚園・保育園・校区小中学校との連携

先週木曜日(11月28日)は幼小中連携の日でしたので、本校の全学級の授業を公開しました。たくさんの参観者を前にどの学級の子もたちもしっかりと学習活動に取り組んでいました。子どもたちが下校した後、先生方は各分科会に分かれ今後の連携の在り方等について協議しました。この授業公開と各分科会は年3回行われます。6月は力合中学校を会場に行われ、そして、1月は力合西小学校で開催されます。授業参観での気づきを共有したり、共通の課題への取り組み状況を確認したりする貴重な機会となっています。

本校には例年たくさんの保育園幼稚園等から入学してきます。すべての園から連携の日に参加していただくことは難しいため、近隣の園にご案内しています。今回も、1年生に限らずほかの学年でも自身の出身園の園長先生を見つけ手を振る子どもたちの姿がありました。その後校長室で園長先生、校長先生方とお話しましたが、特に園長先生は子どもたちの成長した姿を見ることができ大変喜んでおられました。

学校だより第1号でもお知らせしましたように今年度の学校経営方針をホームページに掲載しております。その中の重点努力事項の一つに「幼稚園・保育園(所)・小学校・中学校との連携協力」をあげています。「気づき考え進んで行動する子どもの育成」という学校教育目標に向け前進するため、今後も連携を深めてまいります。※先日は力合西小学校の先生方とチームを作り教職員ソフトボール大会にも出場しました。

人権集会(12月17日)

法務省の人権擁護機関において世界人権宣言が採択された12月10日(人権デー)を最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と定め、昭和24年(1949年)から毎年、各関係機関及び団体とも協力して、全国的に人権啓発活動が特に強化して行われています。本校では12月17日に人権集会を行います。昨年度より5・6年生がリーダーとなり縦割り班(複数の他学年児童と作る班)で人権に関する話し合い活動を行っています。今年度は、人権集会に先立ち11月20日に縦割り班で「だからわるい」という教材をもとにした話し合い活動を行いました。日頃の授業では同じクラスや同学年の子どもたち同士が意見交換することが多いのですが、年下や年上の班のメンバーの考えを自分の学級に持ち帰って授業に生かすという試みです。

法務省のHPには『「誰か」のことじゃない』という人権週間のテーマが示されています。本校の人権集会テーマは現在子どもたちから募っているところです。決まったテーマについて「自分のこととしてとらえる」ことができる集会にということをお私たち教職員が共通理解して、子どもたちと一緒に準備を進めています。集会当日は5年生6年生がリーダーシップを発揮し、他の学年の子どもたちの考えを引き出しながら、すべての人の人権が大切にされる学校へと前進する会になることを期待しています。

先日11月30日12月1日に熊本県を中心に「第75回全国人権・同和教育研究大会」が行われました。他県の先生方とも意見交換できる大変貴重な時間でした。力合小学校の人権集会もたくさんの意見、思いがつながりあう集会となるよう子どもたちの活動を支えていきたいと思ひます。

<12月の保健目標>

かぜ・インフルエンザをよぼうしよう

<12月の生活目標>

はきものをそろえよう